

2021 RACE REPORT

2021年6月8日

ドライバー名	井上 功				車両名	オートボックス小林店NAVULヤリスED			
					エントリー名	ARTAwithオートボックス小林店			
参戦シリーズ名	TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup 2021 東日本シリーズ&西日本シリーズ第1戦					参加台数	91 台		
開催場所	富士スピードウェイ				開催日	予選 6.5	決勝: 6.5		
予選	路面 状況	ハーフウエット	タイム	2.20.973	トップとの差	1.418	順位	A組12	位
決勝		ドライ	ベストラップ	2.19.677	トップとの ベストラップ差	2.669		28	位
累計獲得ポイント	0				シリーズ 順位	- 位			

◆ **公式予選** 納車されて慣らしと地元のオートポリスで走り込みをしエンドレスさんとブレーキバット、ミッドランド様とオイルの開発兼ねてテストしていきました。オートポリスではヴィッツのコースレコード塗り替えるタイムは出せました。レースウイークの月曜日に1度富士へ入りドライ路面でテスト2.16.8その日のトップの1秒以内いいペースで周回出来ました。前日の公式練習ではフルウエットでしたが総合8位でウエットではいい感触でした。公式予選はウエットからドライへ変わる難しい状況一昨年の関東チャンピオンの木村選手と西日本チャンピオンの三浦選手と3台でチーム組んで周回しました。クリア取れず最後の1周のみのアタックでしたがウエットからドライへ変わる路面状況あと少し車速上げても飛び込めましたが対応しきれずA組12位 24番グリッドになりました

◆ 決勝レース

24番グリッドからのスタート コンソレのレースが先に行われ出場した選手からの情報でヤリスは4千回レブで回しすぎるとストールするよとの情報を頂きチーム内、557号車のG7の河崎選手と共有しフォーメーションラップの際にスタート練習しました。スタート時は3700回転でクラッチミート ぱっちりスタート決まりました。今回は隣前後のグリッドは過去の富士のチャンピオン経験者や86BRZレースなどで活躍している選手ばかり。ミラーtoミラーのスレスレのクリーンなバトルでした。小さな接触ありましたが黄旗SC無しのクリーンなレース展開で無事に終わりました

次レース作戦その他の情報

次戦の鈴鹿はほとんど走ったことの無いコース。レースウイークもヤリスでは金曜日の2本のみしか走行枠がない遠征組にはかなり厳しい状況。ヴィッツ関西シリーズが併催なのでヴィッツにもWエントリーしました。ヴィッツ枠含めると合計5本走れるのでヴィッツでも練習して挑みます

店舗関係者で見に来られた方(できるだけ詳しく)

ミッドランドオイル中島社長様 エンドレス鈴木様

現状の店舗情報(展示状況やイベント案内など)

事務局へ要望